

授業科目名 (英文表記)	所得税法特殊問題 (Income Tax Law (Case Study))		
単位数	2	授業形態	講義・演習
担当教員	片山 直子		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 4月9日(土) 9:00~12:00	第7回 5月21日(土) 9:00~12:00	
	第2回 4月16日(土) 9:00~12:00	第8回 6月4日(土) 9:00~12:00	
	第3回 4月23日(土) 9:00~12:00		
	第4回 4月30日(土) 9:00~12:00		
	第5回 5月7日(土) 9:00~12:00		
	第6回 5月14日(土) 9:00~12:00		

【授業のねらい・概要】

本講義では、所得税法における重要判例および論点の分析をとおして、同法について体系的な理解を深めることを目的とする。概ね以下のようなテーマについて、報告者が論点整理や学説紹介を行った上で、自分の意見を発表し、それに基づいて、受講生全員で議論する。

【授業計画】

- 第1回 ガイダンスおよびイントロダクション(報告担当者を決定する)
- 第2回 所得の概念 納税義務者と課税単位
- 第3回 所得の帰属 利子所得の意義
- 第4回 配当所得の意義 事業所得の意義
- 第5回 給与所得の意義 退職所得の意義
- 第6回 譲渡所得の意義 一時所得の意義
- 第7回 収入金額と必要経費 年度帰属
- 第8回 損益通算および損失の繰越控除 所得控除

【到達目標】

所得税法の考え方についての理解を深めることを目標とする。

【教科書】

金子宏『租税法(最新版)』(弘文堂)、『租税判例百選(最新版)』(有斐閣)ほか、必要に応じて指示する。

【参考書】

谷口勢津夫『税法基本講義(第5版)』(弘文堂)、増井良啓『租税法入門』(有斐閣)ほか、必要に応じて指示する。

【成績評価】

発表内容や議論への参加状況、出席状況等を総合勘案して評価する。

【授業時間外学習】

事前に判例研究の課題を読んで、自分の考えを整理しておくこと。

【履修上の注意・メッセージ】

法律解釈及び租税争訟手続について、理解しておくこと。
他の法律科目もあわせて受講し、リーガルマインドを養成することが望ましい。
議論への積極的な参加を求めます。